

#がんばれワカナ パリ2024オリンピック出場内定

バドミントン競技 女子ダブルス
永原 和可那 選手
(芽室町出身)



永原 和可那選手を応援しよう

5月21日、芽室町出身の永原和可那さんがパリ2024オリンピックバドミントン競技女子ダブルスの日本代表に内定しました。ペアを組む松本麻佑選手(札幌市出身)とともに2大会連続のオリンピックに臨みます！日本代表選手団への認定、正式決定は日本オリンピック委員会の発表に基づきますが、芽室町を挙げて心からエールを送るため、応援企画を実施します。バドミントン女子ダブルスは7月27日～8月3日の日程で行われる予定です。がんばれワカナ！がんばれナガマツペア！

7/1～オリンピック終了まで町内2か所に「特設応援ブース設置」

総合体育館とMEMURO UNITE BASE(本通:帯広しんきん向かい)に設置。

※この2か所のほか、移動式で特設応援ブースを各所に設置予定です。
設置情報は、芽室町のSNSなどで発信します。

3つの方法で応援しよう！

日の丸国旗に「応援メッセージ」を書こう！

ブース内に、国旗を設置しているので、わたしたちの想いがパリまで届くように、熱い応援メッセージを書き込みましょう！

金色の折り紙で、金メダルの想いを込めて「千羽鶴」を折ろう！

金メダル獲得を目指して、想いを込めて千羽鶴を折りましょう！

永原選手の等身大パネルと、「記念写真」を撮ろう！

身長168cmの永原選手の等身大パネルを設置するので一緒に写真を撮りましょう！
その写真を各自のSNSで「#がんばれワカナ」を付けて発信しましょう！
きっとパリにいる永原選手に届くはずです。



パブリックビューイングを実施

永原和可那選手が出場する試合の模様を、大型スクリーンを利用して観戦するパブリックビューイングの開催を予定しています。

パブリックビューイングの日程・詳細は、パリオリンピックのバドミントン競技の組み合わせが発表されましたら、皆様にお知らせします。
ここ芽室町から、永原選手のメダル獲得に向けた熱い戦いをみんなで応援ましょう！



応援グッズを制作

応援グッズとして、「うちわ」や「スティックバルーン」を制作します。

「うちわ」は町内の保育・教育機関や商店会など町内各所で、「スティックバルーン」はパブリックビューイング会場でお配りする予定です。みんなで観戦してもらえるように応援グッズを作成します。



SNSで応援メッセージ発信「#がんばれワカナ」企画

応援ブースでの撮影写真や永原選手への応援メッセージなどを各自のSNS(インスタグラム、フェイスブック)で、「#がんばれワカナ」を付けて投稿してくれた方々の中から抽選で素敵なプレゼントをお贈りします。

ドンドン応援メッセージを発信してください。



飲食店「応援メニュー」提供企画

各飲食店等で、「#がんばれワカナ」応援メニューを開発して提供して貰えれば、その情報を芽室町のSNSで発信していきます。

食べながら、飲みながら、永原選手を応援しましょう！
(例えは…「炒飯の上に白玉焼きをのせて、「金メダル応援炒飯」など…
「#がんばれワカナ」応援メニュー開発にご協力いただける方は魅力創造課
(☎62-9736 窓2階[8])まで。



5月22日 芽室中学校吹奏楽部
日本ジュニア管打楽器コンクール出場報告



3月26日から30日に東京都で開催された「第26回日本ジュニア管打楽器コンクール」に出場した芽室中学校吹奏楽部の皆さん、程野教育長に出場報告を行いました。ソロ部門のパーカッションに出場した長山奏真さん(3年)は金賞、同じくソロ部門のホルンに出場した菅原彩楽さん(3年)は銅賞を受賞するなど、全国の舞台で実力を大いに発揮されました。

程野教育長は「皆さん芽室町の誇り。全国の舞台という一生忘れぬ素敵で貴重な経験を活かし、次の目標に頑張って」とエールを送りました。

町民の皆さんのがある「ホットス。連携協議会」に向かって活動をしているところで、内に連携協議会」を立ち上げ、その目的で地域振興によるソフト事業を入れたいと考えた。町民の皆さんのがある「ホットス。連携協議会」を立ち上げ、その目的で地域振興によるソフト事業を入れたいと考えた。

5月15日 芽室町役場
大谷亨氏に感謝状贈呈

芽室町社会教育委員や芽室町議会議員、北海道議会議員を歴任され、昨年12月に13人目の芽室町名譽町民となられた大谷亨様から500万円のご寄附をいただき、町から感謝状を贈呈しました。大谷様からは「若い頃から芽室町で様々な活動をさせていただいてお世話になったことに少し、何か恩返しできればとの想い」とのお言葉をいただきました。

今回いただいた多額のご寄附は大切に使わせていただきます。

大谷亨様、ありがとうございました。



まちのうごき

4月21日～23日、4月24日～26日

中学校2校が修学旅行で地域をPR

町内の小中学校で実施している、地域について学ぶ「めむろ未来学」の一環で、芽室中学校と上美生中学校の3年生が、自分たちで制作した地域のパンフレットを東京などの修学旅行先で配布し、魅力をPRしました。

上美生中学校の5人は、修学旅行で立ち寄った動物園や食堂などの施設の方にPRパンフレット「上美で生きる～自然いつぱい みんなのふるさと～」を配布。配布した生徒たちは「上美生に興味を持ってもらい、魅力が広がってくれたら嬉しい」と話していました。

芽室中学校の124人は、町内20の事業所を紹介する「芽室の魅力満載BOOK」を作成し、20班に分かれて配布。芽室の魅力をわかりやすく伝えることを意識して作成し、「受け取ってくれない人もいたけど、だからこそ受け取ってくれた時は嬉しかった。」と話していました。

なんと、浅草寺でパンフレットを受け取ってくれた方からは芽室中学校にお礼の連絡があったそうで、3年生の頑張りや芽室の魅力がしっかり伝わったものと思います。

めむろ未来学 かみびせいからのうじゅうがっこう
芽室中学校・上美生中学校



(左から)上美生中学校の張田さんと増中さん



(左から)芽室中学校の瀬川さんと四方さん

5月14日 町内保育事業所

町内保育事業者との意見交換会を開催しました



この意見交換会は令和5年度からスタートし、2年目となる今年は災害を共通テーマに、各保育施設の災害の備えや体制について意見交換を行いました。

当日は町内4法人、5施設の代表者等8人の方々にご参加いただき、各施設での災害への備えや、発生時を想定した連絡や協力体制について共通認識を持つことができました。

また、災害関係のほか、保育現場における課題の共有など、有意義な意見交換会となりました。

5月9日 企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税を活用し電子図書を購入



100万円のご寄附をいたしましたホクレン農業協同組合連合会様(札幌市、篠原末治代表理事会)

長に感謝状を贈呈しました。

いただいた寄附金は、教育・文学・自然など、様々な児童向け電子図書278冊の購入に活用させていただきました。

感謝状贈呈式当日は、帯広支所田中次長にお越しいいただき、「未来の子供たちへの成長に繋がる事業を通じて頂けて非常に嬉しい。そして、芽室町の活力や未来に役立て光榮です。今後とも芽室町を含む全道の市町村と連携ていきたい」とお言葉をいただきました。ホクレン農業協同組合連合会様、ありがとうございました。

町長室から
日高山脈の国立公園化
芽室町長 手島旭

5月14日 町内保育事業所
町内保育事業者との意見交換会を開催しました

ボイスでは、「日高山脈をアピールする効果は?」という質問も機に、まずは地元の方々に素晴らしさを共通テーマに、各保育施設の災害の備えや体制について意見交換を行いました。当日は町内4法人、5施設の代表者等8人の方々にご参加いただき、各施設での災害への備えや、発生時を想定した連絡や協力体制について共通認識を持つことができました。また、災害関係のほか、保育現場における課題の共有など、有意義な意見交換会となりました。

5月9日 企業版ふるさと納税

企業版ふるさと納税を活用し電子図書を購入

100万円のご寄附をいたしましたホクレン農業協同組合連合会様(札幌市、篠原末治代表理事会)

長に感謝状を贈呈しました。

いただいた寄附金は、教育・文学・自然など、様々な児童向け電子図書278冊の購入に活用させていただきました。

感謝状贈呈式当日は、帯広支所田中次長にお越しいいただき、「未来の子供たちへの成長に繋がる事業を通じて頂けて非常に嬉しい。そして、芽室町の活力や未来に役立て光榮です。今後とも芽室町を含む全道の市町村と連携したい」とお言葉をいただきました。ホクレン農業協同組合連合会様、ありがとうございました。